

令和7年度の学校経営

1 校 訓

「学ぶ」 「響く」 「琢く」

※ 生徒と教師がより良い生き方を目指して、日々の学校生活のなかで「学びあい」「響きあい」「琢きあう」姿を、理想的に表現したもの

2 学校教育目標とめざす姿

(1) 学校教育目標

「感性をみがき、未来を生きぬく力を育む学校」

(2) めざす学校像

- 夢の広がる学校・・・「学ぶ」・・・「探求力」
- 心が響きあう学校・・・「響く」・・・「自治力」
- 活力に満ちた学校・・・「琢く」・・・「挑戦力」

(3) めざす生徒像

- 自分の夢を求め、その実現のために主体的に学び続ける生徒
- 優しさや美しさに感動できる豊かな感性を持った生徒
- 運動や文化活動を愛し、前向きにチャレンジする生徒

(4) めざす教師像

- 探究的に授業改善に努め、生徒に学びの満足感と確かな学力を育む教師
- 教育目標具現化に向け、協働を意識して職務に励む教師
- 生徒一人一人の存在を大切にし、生徒と共に成長する教師

3 学校経営の基本方針

基本方針を貫く「心意気」

「深い愛情と高い志をもって 一人一人の生徒を大事にする学校をつくる」

(どの学校よりも生徒を大事にする学校をつくる)

～ 幸せになるために生まれてきた全ての生徒たちのために
今の幸せを保障し 未来の幸せにつなげる学校にする ～
だから 授業や生徒と向き合う時間を大事にしていく

- (1) 【教育目標の具現化】 生徒、保護者、地域の声を拾いながらPDCAサイクルを機能させ、教育活動を組織的・計画的に進め、学校教育目標の具現化を図る。
- (2) 【学ぶ】 個に応じた「ワクワクする、わかる、力のつく授業」を展開し、「探究的に学ぶ姿勢」を育み、「確かな学力」をつける指導を積み重ねる。
- (3) 【響く】学級経営・学年経営、および生徒会活動等の学校内外における体験的な活動を通して自治力や社会力を高め、一人一人が安心して生活できる集団づくりを進める。
- (4) 【琢く】自分と他者の存在や生き方を大切にし、一人一人のよさを最大限に生かしながら前向きに挑戦していく、心身ともに健康でたくましい生徒を育成する。
- (5) 【教職員】各校務部のリーダーを中心に、一人一人が学校経営に参画して組織力を高めながら責任ある教育活動を展開し、授業及び生徒と向き合う時間を中核とした、信頼される学校をつくる。

未来を担う生徒たちの人格の完成に携わるという教育公務員としての矜持を持ち続けるとともに、危機管理意識の更なる醸成を図りながら、信頼される学校をつくる。